

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター 後援：一般社団法人中国経済連合会

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2020年8月24日(月)、広島市のホテルセンチュリー21広島において、2020年度 第1回ヘルスケア・医療福祉事業化交流会「AI・IoT活用ヘルスケアビジネスの最新潮流」を開催しました。本交流会は、ヘルスケア・医療福祉分野への新規参入や新製品・新規事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズを紹介し参加企業とのマッチングを図るものです。

今回は、健康増進・介護予防、医療、リハビリテーション、介護・生活支援など、ヘルスケア・医療福祉分野の様々なステージで動き始めているAI・IoTを活用した新たなビジネスに焦点を当て、慶應義塾大学の岩本 隆 特任教授およびインテル(株)の野辺 継男 氏からご講演いただきました。

参加者からは、「具体的な事例で分かりやすく説明いただき、ヘルステックビジネスの最新状況をよく理解できました」、「AI・IoTの社会実装へのポイントを明確に説明いただき、新しいビジネスの可能性について考えるきっかけとなりました」など好評の声を数多くいただきました。

また、広島国際大学の森永 浩介 助教および広島市立大学の福田 浩土 准教授から研究シーズを発表していただき、関心を示された企業に対して、今後、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。

【会場風景】



【日時・会場】

日 時： 2020年8月24日(月) 13:30~16:35

会 場： ホテルセンチュリー21広島 2階 フォルザ (広島市南区的場町 1-1-25)

【参加者】 81名

【プログラム】

(1) 講演1 「ヘルステックビジネスの最新潮流と AI・IoT・脳神経科学・フレキシブルデバイスなどを応用した新ビジネス事例」

慶應義塾大学 大学院経営管理研究科 特任教授

岩本 隆 氏

(2) 講演2 「AI・IoTの本質とヘルスケアビジネスでの活用および今後の展望」

インテル株式会社 事業開発・政策推進ダイレクター(兼)

チーフ・サービス・アーキテクト

名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授

野辺 継男 氏

(3) 研究シーズ発表 1

「AIを活用した簡便・安価な足部診断システムの開発

～インソール(靴中敷)効果検証への応用～」

広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

義肢装具学専攻 助教

森永 浩介 氏

(4) 研究シーズ発表 2

「認知・運動機能評価システムの開発と認知症予防プログラムへの応用」

広島市立大学大学院 情報科学研究科 医用情報科学専攻 准教授

福田 浩土 氏



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>